

ご質問	ご回答	参考リンク
スコアレポートについて		
D, A, M, Lは何の略なのか教えてください。	Disclosure(情報開示), Awareness(認識), Management(マネジメント), Leadership(リーダーシップ)の略です。	
リーダーチャートのABCの評価は得点率でしょうか？	最終スコアと同様に、カテゴリごとの得点率に、ウェイトを加味して算出した点数を、最終スコアのA~Dの閾値と同様の基準に当てはめて表示しています。	
スコアレポートに記載されているカテゴリスコアの評価方法も、各カテゴリの該当設問の情報開示・認識・マネジメント・リーダーシップの各レベルの得点率を各レベルの閾値と照合して評価するという理解でよろしいですか？	はい、ご理解のとおりです。	
今回B評価でしたが、マネジメントの閾値74以下のどのくらいだったかを確認する方法を教えてください。	申し訳ありませんが、Aに近いBであるか、Bに近いBであるか、などを確認できる資料はございません。フィードバックをご利用いただき、改善点の指摘を受けることで、よりスコアの理解を深めていただけたらと思います。	
同業他社がAのスコアを取得しているのですが、スコアレポートには当社のアクティビティグループでスコアを取得した企業が無いと記載されています。	CDPの評価では「A」と「A-」は異なるものですので、A-ではリスト企業として記載されていません。	
各設問に対する重みづけの資料を拝見しました。自社の各設問に対する回答が加点されたのか、加点されなかったのかはどこを見れば確認できるのでしょうか。	各設問の得点は非公開となっております。	
スコアレポートは、ダウンロードした2枚目の以外、カテゴリ毎に詳細なスコア集計したレポートはございますか？	回答のフィードバックとしてお送りしているものはスコアレポート(2ページ)のもののみとなっております。	
各質問で何点取れたかを確認する方法はありますか？スコアリングメソッドローを見て、「予想する」しかないのでしょうか？	各設問の得点は非公開となっておりますので、ご理解のとおりです。	
弊社は気候変動に回答してきたのですが、水については今まで回答してきませんでした。結果水については開示においてF応答なしとなっております。回答したつもりもないのですが気候変動のほうの評価に影響はしているのでしょうか。	Fは回答なしの評価ですので、ご回答いただけない場合はFとなっております。気候変動、水セキュリティ、フォレストはそれぞれ個別にスコアリングが行われますので、いずれかに回答していないことが別の回答のスコアに影響することはありません。	
森林のほうも未回答ですが、特にFはついておりません。	回答をしておらず、Fの評価となっていない場合、貴社はフォレスト質問書の対象とはなっていないということかと存じます。	
各項目のスコアリングについてですが、閾値を超えなければ次のレベルの評価を受けることができないう認識で合っていますでしょうか？	ご理解のとおりです。	
スコア123の算定、C10の検証を行わない場合は、カテゴリスコアは、最高でもCですか？	外部検証を取得していない場合、「スコop1, 2」カテゴリでは、B-以上のスコアを獲得することができますが、「スコop3」カテゴリではC以下となります。	
弊社は取引企業の要請に基づき質問書に回答しています。今回弊社にいただいたスコアレポートは、サプライヤーエンゲージメント評価ではなく、全ての質問に対する評価になるのでしょうか？	はい、すべての質問に対する評価で、サプライヤーエンゲージメント評価は2月頃発表の予定です。	
全回答企業のスコアが平均的に上がっていると思いますが、その要因は何でしょうか。	CDP質問書は、回答企業のみさまざまな負担を大きくしないために、なるべく必要以上の要素を導入しないように検討しています。そのため、毎年継続して設定されている質問が多いため、企業の方々の回答準備が整ってくることで、より良い回答をいただけるようになってきているものと考えられます。また近年、日本でもESGへの関心の高まりから、多くのステークホルダーにCDPの回答に注目いただくケースも増えてきており、回答に注力いただく企業が増えてきているものと考えております。	
BランクでもリーダーチャートでAの項目になるものがありますが、リーダーシップの質問が0点でもリーダーチャートの評価には反映されないのでしょうか？	リーダーシップの質問が0点の場合、リーダーチャートにおけるカテゴリスコアがA-以上になることはありません。(A-以上のカテゴリスコアがしている場合、そのカテゴリにおいてリーダーシップレベルで同等のポイントが付与されたことを示しています。)	
カテゴリスコアのリーダーチャート内、(バリューチェーンエンゲージメント)の満点スコアはAでしょうか？バリューチェーンエンゲージメントのみCスコアから改善されませんか。改善ポイントをご教示頂きたいです。	いずれのカテゴリもAのスコアが最高となっております。今後お役に立てるような資料の提供やウェビナーの開催を行ってきたいと思っております。すでにご確認済みかとは思いますが、よろしければ右リンクの資料や過去のウェビナーをご参照ください。	<a href="#">CDPジャパン開示サポート資料</a> <a href="#">CDPジャパンイベント情報</a>
簡易版のマッピング資料はどこに公開されておりますでしょうか	カテゴリ&ウェイトの資料の、「Minimum tier scoring methodology」が簡易版に該当します。	<a href="#">気候変動:カテゴリ&amp;ウェイト</a> <a href="#">水セキュリティ:カテゴリ&amp;ウェイト</a> <a href="#">フォレスト:カテゴリ&amp;ウェイト</a>
「スコアリングカテゴリ:各モジュールとの質問マッピング」は簡易版でも同じでしょうか。またBからAになるための%も同じでしょうか	カテゴリ&ウェイトの資料の、「Minimum tier scoring methodology」が簡易版に該当します。閾値は同じですが、簡易版の場合リーダーシップレベルのスコアがどれだけ高くてもAになることはなく、最高評価はA-となります。	<a href="#">気候変動:カテゴリ&amp;ウェイト</a> <a href="#">水セキュリティ:カテゴリ&amp;ウェイト</a> <a href="#">フォレスト:カテゴリ&amp;ウェイト</a>
気候変動質問書のC11カーボンライジングは、フィードバックレポートのリーダーチャートでいうどの項目に含まれるのでしょうか。	カーボンライジング(C11)はスコアレポート上のカテゴリには含まれていません。詳細は発表資料p.10または右のカテゴリ&ウェイトの資料をご参照ください。	<a href="#">気候変動:カテゴリ&amp;ウェイト</a> <a href="#">水セキュリティ:カテゴリ&amp;ウェイト</a> <a href="#">フォレスト:カテゴリ&amp;ウェイト</a>
スコアレポートのチャートの「Risk disclosure」に該当する質問番号をご教示ください。	Risk DisclosureはC2, 3が該当します。詳細は発表資料p.10または右のカテゴリ&ウェイトの資料をご参照ください。	<a href="#">気候変動:カテゴリ&amp;ウェイト</a> <a href="#">水セキュリティ:カテゴリ&amp;ウェイト</a> <a href="#">フォレスト:カテゴリ&amp;ウェイト</a>
リーダーチャートのスコop3エミッションの評価をする設問番号はどこになるでしょうか	スコop3排出は、C6, 5及びC10, 1cが該当します。詳細は発表資料p.10または右のカテゴリ&ウェイトの資料をご参照ください。	<a href="#">気候変動:カテゴリ&amp;ウェイト</a> <a href="#">水セキュリティ:カテゴリ&amp;ウェイト</a> <a href="#">フォレスト:カテゴリ&amp;ウェイト</a>
カテゴリスコアベンチマークの「(バリューチェーンエンゲージメント)」は「とても詳しいスコアリングカテゴリ」のどこに当てはまりますか？	バリューチェーンエンゲージメントはC12, 1が該当します。詳細は発表資料p.10または右のカテゴリ&ウェイトの資料をご参照ください。	<a href="#">気候変動:カテゴリ&amp;ウェイト</a> <a href="#">水セキュリティ:カテゴリ&amp;ウェイト</a> <a href="#">フォレスト:カテゴリ&amp;ウェイト</a>
スコアレポートのリーダーチャートの「Energy」に該当する質問番号をご教示ください。	エネルギーはモジュールと一致しており、C8が該当します。詳細は発表資料p.10または右のカテゴリ&ウェイトの資料をご参照ください。	<a href="#">気候変動:カテゴリ&amp;ウェイト</a> <a href="#">水セキュリティ:カテゴリ&amp;ウェイト</a> <a href="#">フォレスト:カテゴリ&amp;ウェイト</a>
気候変動のスコアレポートのリーダーチャートの「Governance」に該当する質問番号は、C1, ガバナンス以外にもあるのでしょうか。	ガバナンスはモジュールと一致しており、C1が該当します。詳細は発表資料p.10または右のカテゴリ&ウェイトの資料をご参照ください。	<a href="#">気候変動:カテゴリ&amp;ウェイト</a> <a href="#">水セキュリティ:カテゴリ&amp;ウェイト</a> <a href="#">フォレスト:カテゴリ&amp;ウェイト</a>
スコアリングについて		
日本語での回答と英語での回答にて、評価の粒度に差異が生じるものなのでしょうか。日本での提出の場合、日本語・英語何れも、同じスコアリングパートナーの仕様にて複眼にてご採点頂いているという理解でよろしかったでしょうか。	日本語でも英語でもスコアリングに影響することはありません。ご理解のとおり、いずれの言語であっても複数人でスコアリングを行っております。また、スコアリングパートナーのスコア結果をCDPスタッフがチェックするプロセスもグローバルで導入しています。	
企業活動範囲を拡大(海外関係会社の拡張)した場合(バウンダリー拡大)、CO2排出量が増えます。その場合、スコアは不利になりますか？	バウンダリーの変更に関しては、変更があったことを適切に回答いただければスコアに不利になることはありません。	
バウンダリーの変更は、目標値の変更も行うことになりませんか？	基準年排出量は、同じバウンダリーである必要があります。状況次第で目標値の変更が必要になる場合もあるため、精査が必要です。	
例えば、前年度より、純粋に再エネルギーまたは、原単位に対するエネルギー効率がその年だけ下がっても、「エネルギー」の評価が下がりますか。それとも2年続けてとか全前年度のCDPの内容も評価対象に加味されることはありますか？	「エネルギー」カテゴリの評価は前年比ではなく、報告年の実績のみが評価の対象となります。	
定量的なデータの場合は自己採点しやすいですが、定性情報で回答しているものについてはどのように採点がついているか不明箇所が多くあります。提出前ウェビナーを受講した際、「説明」の部分では具体的な事例を〇件以上は記載したほうがいいといったような内容も伺っているのですが、評価の際には、採点者が1つずつ目視で確認し採点しているのでしょうか？定性設問の自己採点のコツを教えてくださいたいです。	定性的な記述に対するスコアリングは、一つ一つスコアラーが内容を確認して採点しています。スコアリング基準に記載している採点基準に従って、全世界で同じ基準となるように整合性を取りながら採点しています。自己採点いただくには、質問の意図や求められている内容に加えて、細かな採点基準を理解する必要があります。難しい部分もあるかとは思いますが、レポートユーザーとスコアラーとの間で各採点基準の理解を助けるお手伝いもしておりますのでご関心がある場合はお問合せください。	
閾値について		
今回、閾値(気候変動)を調整されたのは何が要因になっているのでしょうか。	気候変動分野に関しては、世界中で急速に社会的な要請が厳しくなっています。(1.5℃目標の促進や、気候変動情報開示の規制導入など) そのような状況に整合させるため、昨年よりも厳しい基準を設定しています。	
Aリストの閾値(気候変動)は去年いつから今年65%に厳しくなったのでしょうか？去年何%でしたか？	去年は60%でした。去年の閾値は、「CDP2020 気候変動レポート:日本版」(p.11)をご覧ください。	<a href="#">CDP2020 気候変動レポート:日本版</a>
閾値の変更はスコアリングパートナーに連絡していますが、連絡をした場合、どのタイミングですか。連絡をしていない場合、なぜですか。	閾値は、回答企業のスコア分布を確認する必要があります。スコア公表の直前に決定されますので、スコアリングパートナーへのご連絡はパートナー側でのスコアリングが終わった後、CDP側で最終的な確認が終わった段階となります。	
閾値の件、つまり回答内容が昨年度に対して変わらない、もしくはやや高い場合であっても、調整の結果ランクダウンすることもあったということでしょうか？	はい、ご理解のとおりです。	
1.5℃やネットゼロ宣言の有無が基準に影響したという理解でよいでしょうか？	気候変動分野に関しては、世界中で急速に社会的な要請が厳しくなっています。(1.5℃目標の促進や、気候変動情報開示の規制導入など) そのような状況に整合させるため、昨年よりも厳しい基準を設定しています。	
A-からAAの閾値(気候変動)は去年75%？だったのが、今年65%に下がったということですか？ 閾値が下がったと厳しくなってAリスト企業数は減ったということですか？	去年は60%で、閾値は上がっています。去年の閾値は、「CDP2020 気候変動レポート:日本版」(p.11)をご覧ください。	<a href="#">CDP2020 気候変動レポート:日本版</a>

スコアリングの閾値は下がったのではないのでしょうか？例えばリーダーシップスコアでは今までは79%を超えないとAからA+上がらなかったのが、今年は64%を超えればAになると理解ですが合っていますか？今年閾値を超え以外にAリスト入りの要件で追加されたことはありましたでしょうか？(たとえばこの質問のスコアをとっていないとAリストには入れない、など)	気候変動について、Aになるための閾値は、去年は60%だったため、今年は上がっています。水セキュリティ、フォレストは据え置きです。去年の気候変動の閾値は、「CDP2020 気候変動レポート:日本版」(p.11)をご覧ください。Aリスト入りの要件についてはスコアリングイントロダクション(日本語版)p.15をご覧ください。水セキュリティとフォレストに若干の変更がありました。	<a href="#">スコアリングイントロダクション</a>	<a href="#">CDP2020 気候変動レポート:日本版</a>
セクターについて			
セクターの説明ですが、業種は自分で選んだと思うのですが、アクティビティグループはCDP側で決められるのですか？優位な業種のようなものはあるのでしょうか？	CDPのセクター分類、アクティビティグループともに売上等の財務情報を元にCDP側で決定しています。割り当てられたセクターに疑問がある場合には変更の申請を行うことが可能です。Japan@cdp.net までお問合せください。CDP質問書にはセクター別の質問もあり、またスコアリング基準もセクター別の基準を導入していますが、各セクターにとって重要な項目、基準をカバーしているものであり、優位なセクターなどはありません。		
同業他社とセクターが異なるのですが、途中から別のセクターに変更することはできるのでしょうか？	CDPのセクター分類、アクティビティグループともに売上等の財務情報を元にCDP側で決定しています。割り当てられたセクターに疑問がある場合には変更の申請を行うことが可能です。Japan@cdp.net までお問合せください。		
セクターは Activity Group のことですよね。今年から変わったのですが その判断はCDPでしているのでしょうか？	セクターはアクティビティグループとは異なります。詳細は右リンク先をご参照ください。セクターの決定は売上等の財務情報を元にCDP側で決定しております。	<a href="#">セクター分類、アクティビティについて</a>	
2022年度以降の質問書について			
来年の設問に関する情報はありますか。	来年の質問書は2022年1月には公開予定です。		
気候変動質問書に生物多様性が増えられるのは、2022年質問書からでしたでしょうか？2023年からでしょうか？	2022年から導入します。		
回答対象企業が決定する時期はいつごろでしょうか？	例年2月頃に回答をお願いする企業様宛にご連絡をしております。来年は例年より少し遅くなる可能性があります。2月～3月頃を予定しています。		
来年度から統合質問書が開始されると伺っております。来年度は統合質問書と、気候や水のような個別の質問書の2種類に回答することになるのでしょうか？	統合された質問書に関しては改めてご連絡させていただきますが、統合質問書の導入は2023年度に延期となりました。統合質問書が導入されましたら、これまでのような気候変動、水セキュリティ、フォレストといった個別の質問書にご回答いただく必要はありません。		
統合質問書の場合、現在は水やフォレストの対象になっていない企業も、気候変動、水、フォレストすべての質問書に回答する必要がありますのでしょうか。ご教示いただけましたら幸いです。	統合質問書の詳細については改めてご連絡させていただきます。		
2023年から統合質問書に対する回答が始まることですが、気候変動、水、森林とそれぞれスコアが出るのではなく、一つのまとったスコアが出るのでしょうか？	統合質問書の詳細については改めてご連絡させていただきます。		
フィードバックコール・レポーターサービスについて			
フィードバックコールとレポーターサービスのサービス内容の違いをご教示いただけますでしょうか。	フィードバックコールは2021年の振り返りとしてご提供しているレポーターサービスの一部であり、レポーターサービス全体にご加入いただくと、2022年質問書回答に向けて様々な回答サポートが得られるものとなっています。詳細は <a href="mailto:reporterservices.japan@cdp.net">reporterservices.japan@cdp.net</a> までお問合せください。		
フィードバックコールはいつごろから実施いただけそうでしょうか？	2022年1月～3月頃にかけて実施予定です。		
フィードバックコールでは、どの部分をどのように改善するとポイントになるといった具体的なアドバイスなどいただけますでしょうか	フィードバックコールでは、スコアレポートをもとにカテゴリ別などの部分に注力することが望ましいのご提案をさせていただきます。時間の都合上、各設問レベルでの細かいフィードバックにはなりません。可能な範囲でご質問にもお答えできますので、ぜひご利用ください。		
フィードバックコールですが、スコアの詳細に関する、事前にお送りした質問に答えていただくことは可能でしょうか？	全てのご質問にお答えすることは難しいかもしれませんが、事前にご質問をお送りいただくことは可能です。		
フィードバックコールの締め切りは3月とのことですが、実施時期、実施方法、ご相談時間はどの程度でしょうか？また、レポーターサービスはいかがでしょうか？	フィードバックコールは2022年1月～3月頃にオンラインで実施、時間をご希望に応じて1時間または30分となります。レポーターサービスは複数のサービスがございますので、詳細は <a href="mailto:reporterservices.japan@cdp.net">reporterservices.japan@cdp.net</a> までお問合せください。		
その他			
CDP回答するのに費用はありますか？	CDP回答には回答手数料をいただいております。詳細は右リンク先をご参照ください。	<a href="#">回答手数料について</a>	
昨年まで、スコアリングに疑問な点があった場合、交渉の余地(スコア改善の余地)があったかと思いますが、現在も可能でしょうか。	スコアアピールは2月11日が×切となっております。お早めに <a href="mailto:japan@cdp.net">japan@cdp.net</a> までご連絡ください。		
スコアアピールをお願いする場合、費用は発生しますか。	スコアアピールに費用は発生いたしません。		
スコアアピールで評価に変更があった場合は、報告書にもリアルタイムで反映されますでしょうか。	HP上で掲載するレポートに関しては、速やかに修正いたします。		
毎年配布されている、各社のスコアや全体の分布が書いている冊子は、いつ頃開示されるでしょうか？	気候変動、水セキュリティ、フォレストのダイジェスト版3点は1月19日のAリスト企業アワードの際にHP上で公表予定です。完全版は2022年春頃までに公表予定です。		
当社は気候変動しか回答していませんが、すべて回答するのがよいのでしょうか？	企業によってどの質問書の対象となっているかは異なります。対象となっていない質問書にご回答いただくことは必須ではありません(自主的にご回答いただくことは可能です)。対象となっている質問書にはできる限りお答えいただきたいと考えております。		
サプライチェーンの評価発表はいつ頃発表になるでしょうか？(ちなみになぜ遅くなるのでしょうか？)	サプライヤーエンゲージメント評価(SER)は2月頃の発表を予定しています。12月に発表したスコアと、SERはスコアリング基準もスコアの意味合いも異なるため、別々に発表しています。		
サプライヤーエンゲージメントの結果はいつ頃発表されるでしょうか	2022年2月頃の発表を予定しています。		
サプライヤーエンゲージメントの評価はどのように実施されているのでしょうか？具体的にはガバナンスの評価の方法について概要をお教えいただければと思います。	サプライヤーエンゲージメント評価(SER)のスコアリング基準も公表しておりますのでご参照ください。	<a href="#">SERイントロダクション</a>	<a href="#">SERスコアリング基準</a>
スコアリングパートナー様の役割は、CDPの実測の評価を行う方を指しているのでしょうか。	実際のスコアリングを担っていただき、CDPのスコアリングをサポートいただいております。		
日本企業の回答で、日本語、英語の割合はどのくらいでしょうか？	特に大企業だけではなくサプライヤーの方々への回答も多くなってきておりますが、回答申請を受けている取引先が日本企業のみである場合は日本語回答が多いこともあり、全体では半数以上の企業が日本語で回答いただいております。(海外の取引先からの回答申請を受けている場合、投資家に回答する場合は、データユーザーにとってより利用しやすくなるように、英語での回答を推奨しています。)		
アパレル企業ですが、フォレスト、ウォーターについても申請がきています。どのあたりが関連性が高いとみなされているのでしょうか？	アパレル企業の場合、皮革を取り扱っている可能性があるということで、フォレスト(畜牛品)の対象となります。また、製造時の水利用だけでなく、アパレル業界は水汚染の問題も指摘されているため、水セキュリティの対象となっています。		
前回対象だった企業が外れた場合は、その企業に連絡があるのでしょうか？	回答対象から外れた場合には特段ご連絡はしていません。		
他社の回答をCDPのWebサイトで参照した時に、その回答企業のアクティビティグループは確認することができますでしょうか。	回答を公開している場合、表示されるのは回答内容のみであり、アクティビティグループはご覧いただけません。		
当社、顧客より気候変動だけ回答を要求されているのですが、水もフォレストも回答することはできますか？顧客へのスコア公開は顧客要求の気候変動だけにとどめたいと考えています。	要請されていない場合でも、自主的に回答することは可能です(有料)。Japan@cdp.net までお問合せください。		
来年度にサプライチェーンプログラムで回答要請した場合に、その要請企業様から回答いただいたデータを使用できるのは再来年度からになるでしょうか？	例えば、2022年度にサプライチェーンプログラムにご参加いただいた場合、サプライヤー様の回答は2022年度の質問書から開始となり、その回答データは2022年秋頃には共有されます。その結果を自社の回答に反映できるようになるのは2023年度からとなります。		